



平成 20 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 総合商研株式会社
代表者名 代表取締役会長 加藤 優
(JASDAQ・コード 7850)
問合せ先 取締役企画管理本部長
原田 正之
電話番号 011-780-5677(代表)

投資有価証券評価損の計上及び中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 7 月期中間期末において投資有価証券評価損を計上することといたしましたのでお知らせいたします。これに伴い、平成 19 年 9 月 25 日に発表いたしました平成 20 年 7 月期中間(非連結)の業績予想を下記の通り修正いたします。

1. 平成 20 年 7 月期中間期末の投資有価証券評価損の総額

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 20 年 7 月期中間期末において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

(A) 平成 20 年 7 月期中間期末の投資有価証券評価損の総額	117 百万円
(B) 平成 19 年 7 月期 純資産額 (A/B×100)	1,613 百万円 (7.3%)
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	169 百万円 (69.4%)
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	134 百万円 (87.1%)

(ご参考) 当社の決算期(事業年度の末日)は 7 月 31 日であります。

2. 平成 20 年 7 月期中間(平成 19 年 8 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日)業績予想の修正

(1) 中間期(非連結)

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	5,800	600	580	335
今回修正(B)	5,776	653	646	362
増減額(B-A)	△24	53	66	27
増減率	△0.4%	9.0%	11.5%	8.3%
前期(平成 19 年 7 月中間期)実績	5,570	571	543	388

(2) 修正理由

当中間期の業績は、商業印刷事業において、取引先の広告宣伝費の抑制、低採算受注の見直し等により減収となったものの、年賀状印刷事業においては、名入年賀状の取扱件数が前期比 12.9%増加の 878 千件、パック年賀状は前期比 84.4%増加の 1,745 千パックと、大幅に受注増加となったことから、売上高につきましては 5,776 百万円と当初予想比 24 百万円減少、前年同期比では 3.7%の増加となりました。

利益に関しては、用紙代をはじめとする原材料価格の上昇、価格競争等の要因はありましたが、内製化による印刷・制作外注費の削減、コスト管理の強化を実施したことにより、営業利益は当初予想比 53 百万円増加の 653 百万円（前年同期比 14.4%増加）、経常利益は当初予想比 66 百万円増加の 646 百万円（前年同期比 19.0%増加）と増益となりました。中間純利益につきましては、投資有価証券評価損を 117 百万円計上したものの、経常増益により吸収し、当初予想比 27 百万円増加の 362 百万円（前年同期比 6.6%減少）となりました

なお、中間配当は、平成 19 年 9 月 25 日に発表のとおり、1 株当たり 7 円を予定しております。

3. 通期の業績予想

通期業績につきましては、平成 19 年 9 月 25 日に発表の業績予想のとおりであります。

以 上